2022年入社式　誓いの言葉

本日は私たち新入社員のために、このような立派な入社式を開催してくださり、誠にありがとうございます。新入社員を代表して、厚く御礼申し上げます。

先ほど、坂本社長から心のこもった温かいお言葉やこれからの指針となるお話をいただき、心強いものを感じると同時に、課されました使命と責任の重大さを痛感し、身の引き締まる思いがいたします。

そして、社会人としての第一歩をこの東北電力ネットワーク株式会社で迎えられたことを大変嬉しく思い、いただいたお言葉を深く心に刻み、業務に励んで参りたいと決意を新たにしています。

11年前の3月、東日本大震災が発生しました。震災当時、大きな揺れに強い恐怖心を抱くと共に、変わり果てた町の光景に愕然としたことを今でも鮮明に覚えています。日常とはかけ離れた生活を送る中で、それまで当たり前のように享受していたエネルギーの重要性を強く実感しました。

災害大国の日本では近年、毎年のように全国各地で極端な気象状況や地震などの自然災害が発生し、甚大な被害に見舞われています。人々の生活を根幹から支える自覚を新たに、想像力を豊かにし大規模災害にも対応できる技能を体得し、電力を安定供給するために責務を全うしていかなければならないと思いを強くしています。

私は女性としては珍しい送電部門に配属となりました。実質的な先駆者と伺っておりますので、何事にも果敢に挑戦し、多くの経験を重ね、先駆者という言葉に負けないよう精進し、後に続く女性の後輩たちが活き活きと仕事のできる環境を整えていくことができるよう努めてまいります。

今，電力業界は変革の時代です。電力自由化による競争激化はもとより，デジタル化や脱炭素化などにより、電力需給構造や取り巻く環境が大きく変化しています。その中で私たち新入社員は、「東北の繁栄なくして当社の発展なし」という東北電力グループの基本的な考え方のもと、変革推進に向けて主体的に挑戦し、地域と共に持続的な成長を遂げることが必要です。

また、中長期ビジョンで掲げられているスマート社会の実現に向けて、変革意識を持ち、たゆまぬ努力を重ねていきたいと考えております。

現在も、世界全体で新型コロナウイルスの感染拡大により、先行き不透明な状況が続いています。私たち新入社員は，学生時代においてもこのような生活を強いられました。

しかし，そのような私たちだからこそ，このような厳しい経験ができることを前向きに捉

え、不自由な状況下で得られる気付きを大事にしながら、着実に歩んでいきたいと考えております。

本日いただいた温かいお言葉と決意をいつまでも忘れることなく、更なる発展のために、電力の安定供給という使命と誇りを胸に邁進していくことをここにお誓い申し上げ、東北電力グループの長い歴史を作り上げて来られた諸先輩方に恥じない立派な社員となれるように精進してまいります。

最後になりますが、役員の皆様をはじめ、諸先輩方、未熟な私共をよろしくご指導・ご鞭撻くださいますようお願い申し上げ新入社員代表の言葉とさせていただきます。

2022 年 4 月 1 日　新入社員代表　鈴木 真織